

全国高校生体験活動顕彰制度 オリエンテーション合宿

令和3年4月19日(月)、5月6日(木)、5月13日(木)、5月27日(木)、6月3日(木)、6月10日(木)、6月15日(火)、6月16日(水)、7月8日(木)、11月9日(火)

【目的】

実際に取り組まれている、地域活性化や地域課題解決に向けた活動の体験を通して、探究のプロセスを体験的に学び、実践活動への知識と意欲を高める。

【参加者】防府高等学校佐波分校 1、2年生 29名

【プログラムの内容】

4月19日(月)

アイスブレイク

5月6日(木)

ガイダンス

5月13日(木)

地域づくりの実践

5月27日(木)

地域理解

6月3日(木)

課題解決の基礎

6月10日(木)

地域課題の探究

6月15日(火)

地域課題の探究

フィールドワーク

6月16日(水)

地域課題の探究

発表

7月8日(木)

行動計画の基礎

発表

11月9日(火)

ガイダンス

講話「地域づくりの実践」



講師3名をお招きし、それぞれ徳地の歴史、とくぢ健康茶、徳地和紙について講話をいただいた。講師の方がそれぞれどのような取組をしているのか、どのような課題があるのか、課題に対してどのように解決しようとしているのか、地域に対する熱い思いとともにお話していただいた。徳地で輝く人たちの様子を知ることができた。

フィールドワーク ～徳地和紙～



和紙作り工程の説明を聞いた後、実際に和紙の原料の皮はぎを体験し、作業の大変さを感じた。出来上がりの量は少量の和紙にしかならないことを知った。また、紙すきを体験し、オリジナルの名刺を作った。和紙には一つひとつ表情があり、和紙の魅力を知ることができた。

フィールドワーク ～歴史～



徳地の歴史についてお話をいただいた後、当時の奇兵隊と幕府軍が戦う様子を現代風に体験するサバイバルゲームを行った。実際に分かれて戦い、地形や戦法について考えることで当時の様子を実感することができた。体験することで歴史について興味がわき、講師の方の思いも知ることができた。

発表



オリエンテーション合宿を通して、学んできたこと、今後についてグループで交流し、発表資料をパワーポイントで作成した。地域について学んでいく過程で感じた課題について、自分たちができることを探究していく素地ができてきた。

フィールドワーク ～とくぢ健康茶～



参加者からの質疑についてお答えいただく中で、とくぢ健康茶の魅力ややりがいについてお話をいただいた。次に、お茶づくりの工程の説明を聞いた後、実際に茶葉を取り、粉碎、焙煎などの工程を体験した。最後に味や効果を尋ねながらオリジナルブレンド茶を作った。体験を通して、とくぢ健康茶の魅力を知ることができた。

【参加者の声】

- ・熱心に徳地の歴史についてお話をされたので、徳地の魅力に気づいた。
- ・徳地にはこんなに素晴らしい伝統工芸品があることが分かった。
- ・飛行機モデルを使ってグループで考えることで、徳地地域の特徴についてしっかりと整理することができた。

【成果】

支援者が地域で輝く人々と学校をつなぐことで、参加者が地域を知り、課題について自分たちがどうアプローチしていくことが良いか十分に考えることができた。また、3か所フィールドワークを設定したことで、興味・関心があるものを選択できたことが意欲につながった。

【課題】

学校参加型で山口県立防府高等学校佐波分校と連携したが、オリエンテーション合宿のカリキュラムと学校側のカリキュラムをすり合わせていくことが難しかった。また学校の授業時数に限りがあるため、オリエンテーション合宿後に行われる実践活動の時間を確保することが難しいと感じた。